

8. RAWデータの取得はできますか？

IDS社提供のデモプログラム uEye cockpit をご使用の場合、プロパティのフォーマットから出力方法をお選び頂けます。

<フォーマットの変更>

uEyeCockpit のメニューから、「プロパティ」を開きます。



uEye カメラのパラメータ設定ができるダイアログボックスが開きます。ここでのカメラ・画像設定は、すぐに反映されます。

「フォーマット」というタブを選択すると下図のような表示になります。

ここでは、お使いの uEye カメラのカラー形式や表示モードのパラメータ設定を行えます。

下図の赤枠にある下記の出カタイプを選択していただければ、RAW データの取得ができます。

- Sensor raw 8・・・センサーの RAW データを未処理で出力します (ピクセルあたり 8 ビット)。カラーカメラではベイヤーカラーフィルター配列を見ることができます。モノクロカメラの場合、ベイヤー配列の RAW データは LUT/ガンマ曲線を除くグレースケール形式に相当します。
- Sensor raw 10
センサーの RAW データを未処理で出力します (ピクセルあたり 10 ビット)。
- Sensor raw 12
センサーの RAW データを未処理で出力します (ピクセルあたり 12 ビット。最下位ビット (LSB) から開始します)。



フォーマットに関する詳細は下記 URL からご確認下さい。

http://www.prolinx.co.jp/supplier/IDS/uEye_Manual/hw_format.html

また、C++言語にて RAW 関数がございます。

詳細は下記 URL をご確認くださいませ。

http://www.prolinx.co.jp/supplier/IDS/uEye_Manual/raw-funktionsbeschreibungen.html

[お問い合わせはこちらから](#)